

東証プライム市場
名証プレミア市場

証券コード 7241

中期経営計画2025-2027 成長戦略の進捗

フタバ産業株式会社
2026年7月30日



アジェンダ

I 目標値と実績

II 成長戦略の進捗

- ① ボデー系部品事業の進化
- ② インド事業の拡大
- ③ 新規事業への挑戦

アジェンダ

I 目標値と実績

II 成長戦略の進捗

- ① ボデー系部品事業の進化
- ② インド事業の拡大
- ③ 新規事業への挑戦

I.目標値と実績

再掲

中期経営計画2025－2027の位置づけ

前中期経営計画
2022-2024

財務体質の健全化

中期経営計画
2025-2027

成長投資

2030目指す姿

グローバルでの
安定的成長

取組み

- ・資本収益性の向上
- ・有利子負債の削減
- ・自己資本比率の向上

- ・既存事業の成長
- ・新規事業の事業化
- ・経営基盤の強化

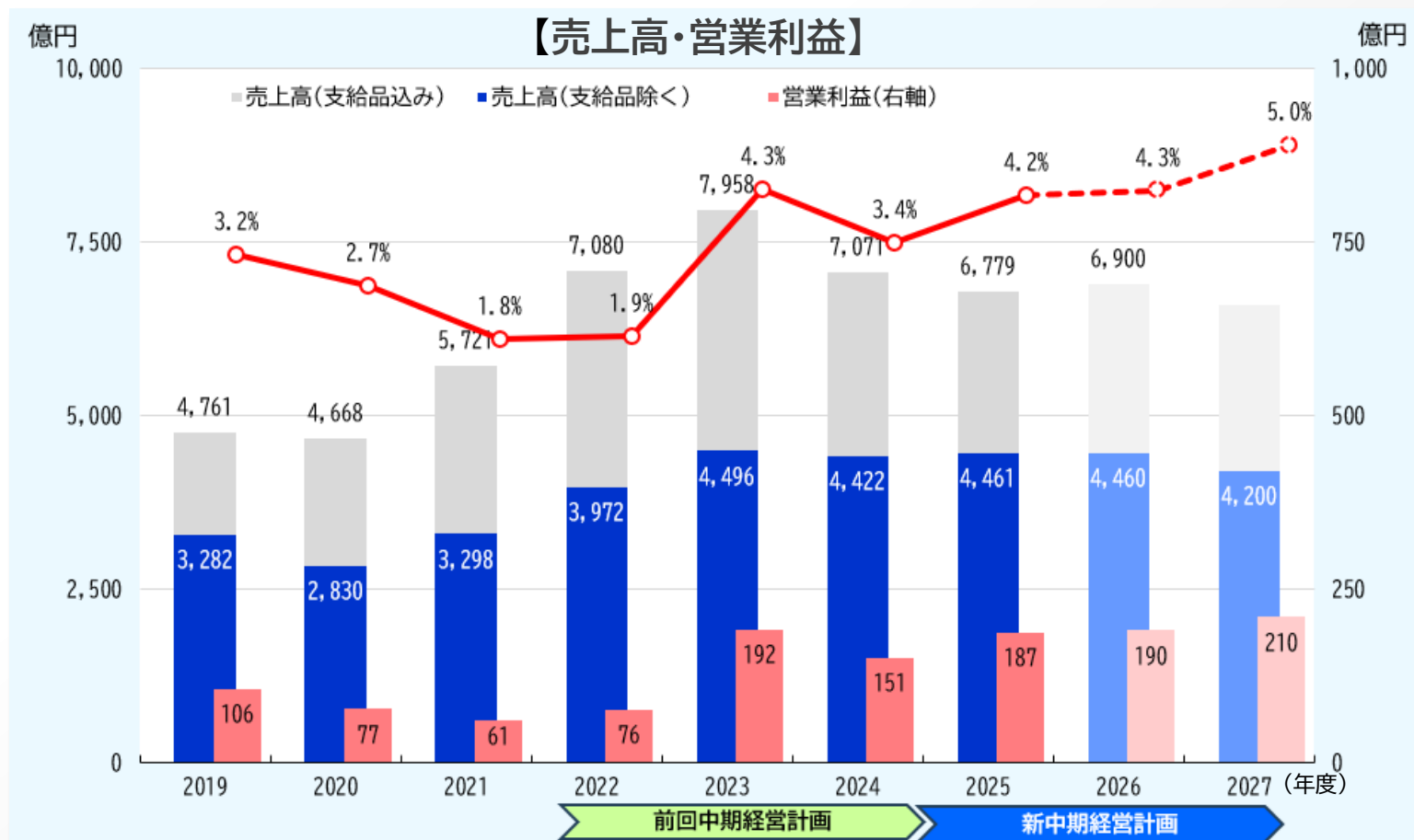
- ・既存事業での成長戦略の成果
- ・新たな収益事業の確立

I.目標値と実績

中期経営計画テーマ

PBR1倍の早期達成に向けて、収益力の向上をはかる

指 標	ROE	営業利益率
目標値	10%以上	5.0%(27年度) ※支給品を除く



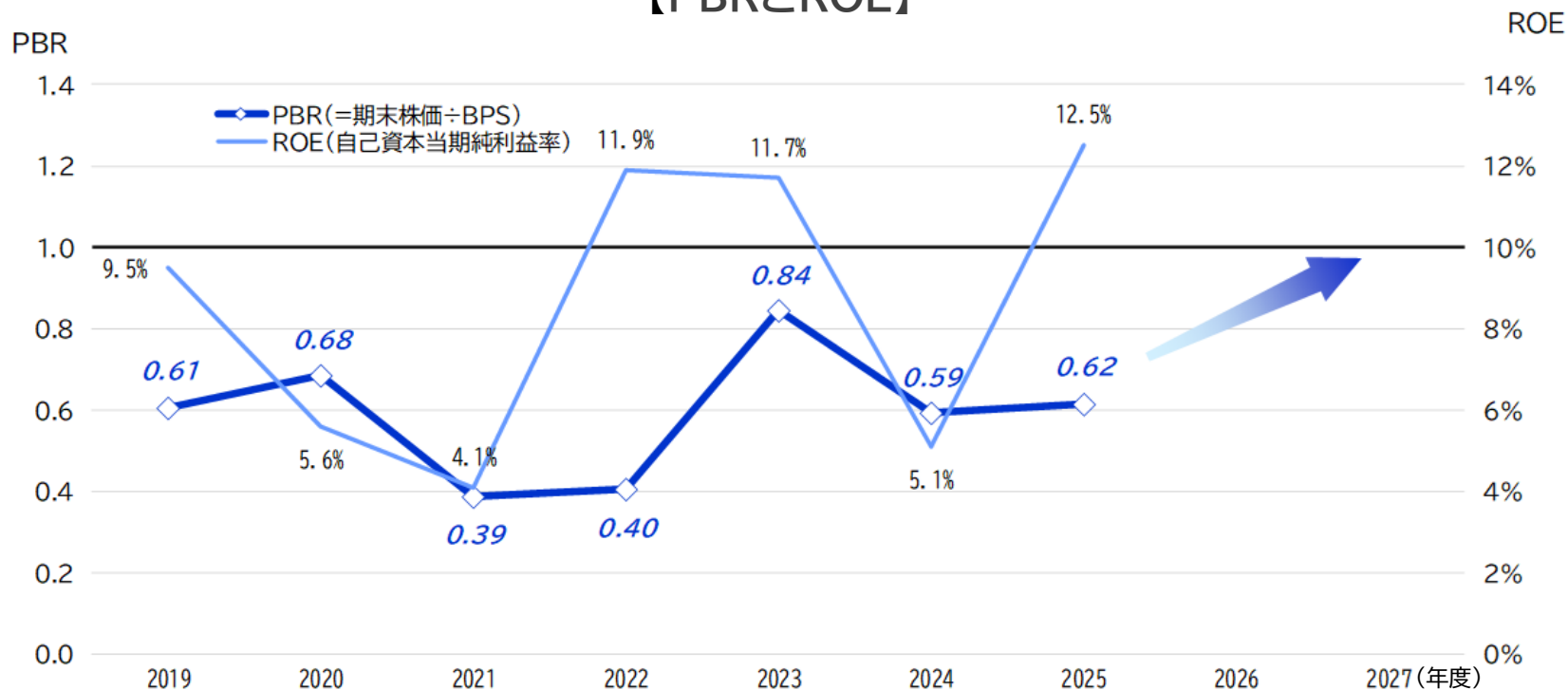
I.目標値と実績

中期経営計画テーマ

PBR1倍の早期達成に向けて、収益力の向上をはかる

指 標	ROE	営業利益率
目標値	10%以上	5.0%(27年度) ※支給品を除く

【PBRとROE】



アジェンダ

I 目標値と実績

II 成長戦略の進捗

- ① ボデー系部品事業の進化
- ② インド事業の拡大
- ③ 新規事業への挑戦

Ⅱ.成長戦略の進捗 ― 中期経営計画2025-2027

再掲

既存事業の成長(製品) / 新規事業の事業化

<売上拡大のための3つの戦略>

- ボデー系部品事業:売上拡大に向けた開発・能力向上
- 排気系部品事業 :電動化ニーズに合わせた新たなシステム
- 新規事業 :開発を加速し早期事業化

Close Up1

Close Up3

既存事業の成長(地域)

- インド事業:成長市場での拠点拡大と事業基盤強化

Close Up2

経営基盤の強化

- 稼ぐ力の向上
- 人への投資
- カーボンニュートラル

売上計画

※支給品を除く



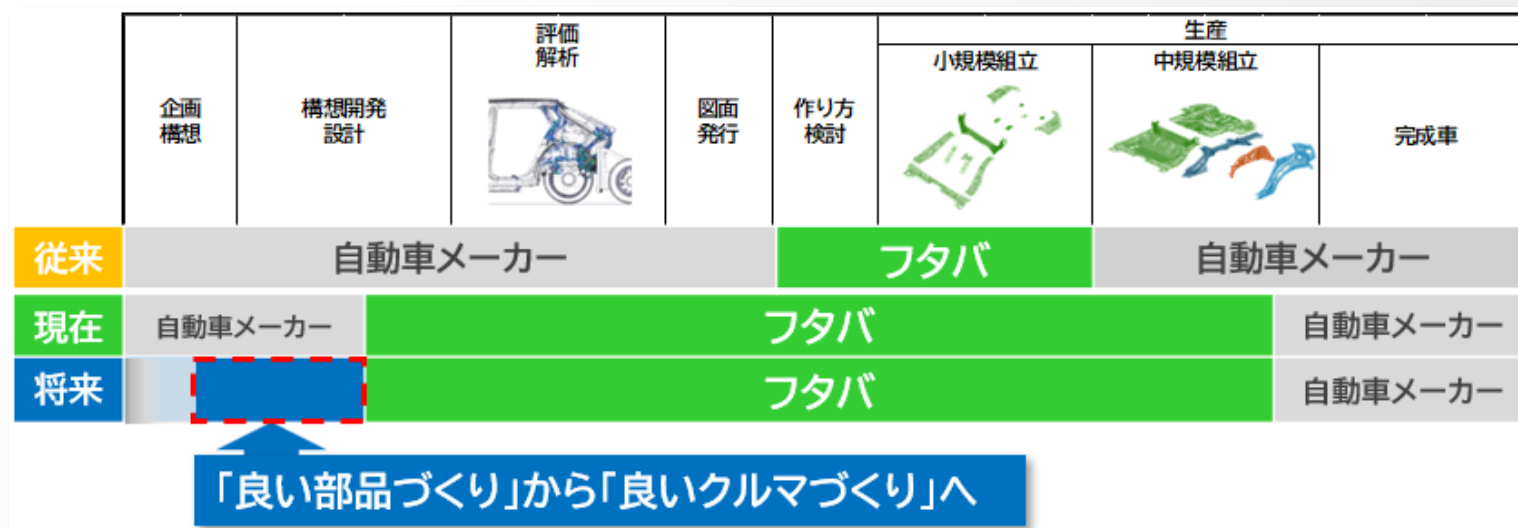
Ⅱ.成長戦略 — ①ボデー系部品事業の深化

Close Up1 ボデー系部品事業

大型化への取り組み



開発プロセス改革



Ⅱ.成長戦略の進捗 ― ①ボデー系部品事業の深化

Close Up1

ボデー系部品事業

従来

小規模組立

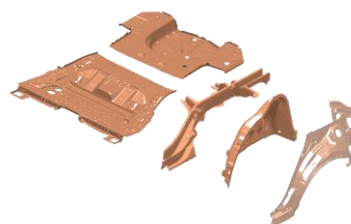


大型化への取り組み

- :受注大型化部品
- :受注実績あり大型化部品
- :その他の受注部品

現在

大型化



bZ4X



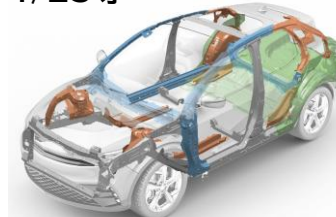
クラウンシリーズ



ランクル250/4Runner



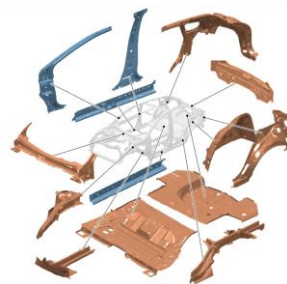
RAV4/ES等



適用拡大

主要構成部品を
大規模に受注

新型車
インド新工場向け



※組み立てはお客様

一手に引き受けさせていただける経験と信頼

Ⅱ.成長戦略の進捗 ― ②インド事業の拡大

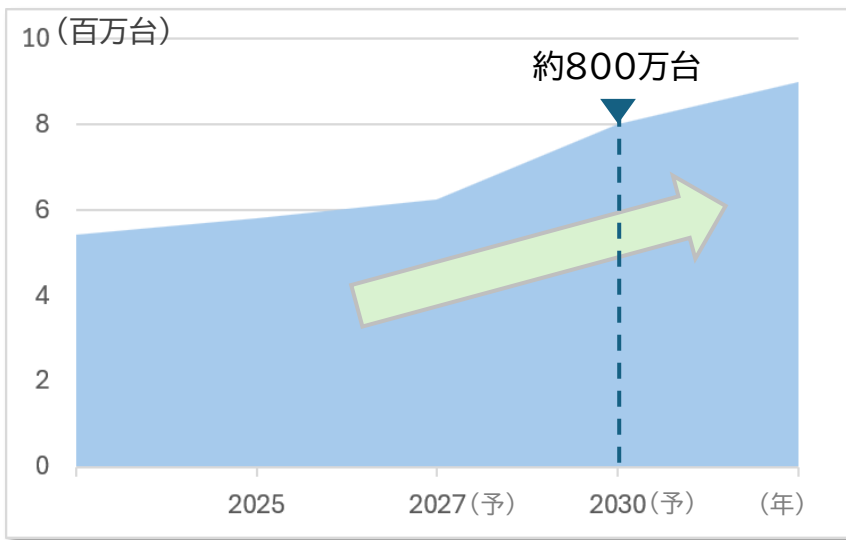
Close Up2

インド事業

■ インド市場

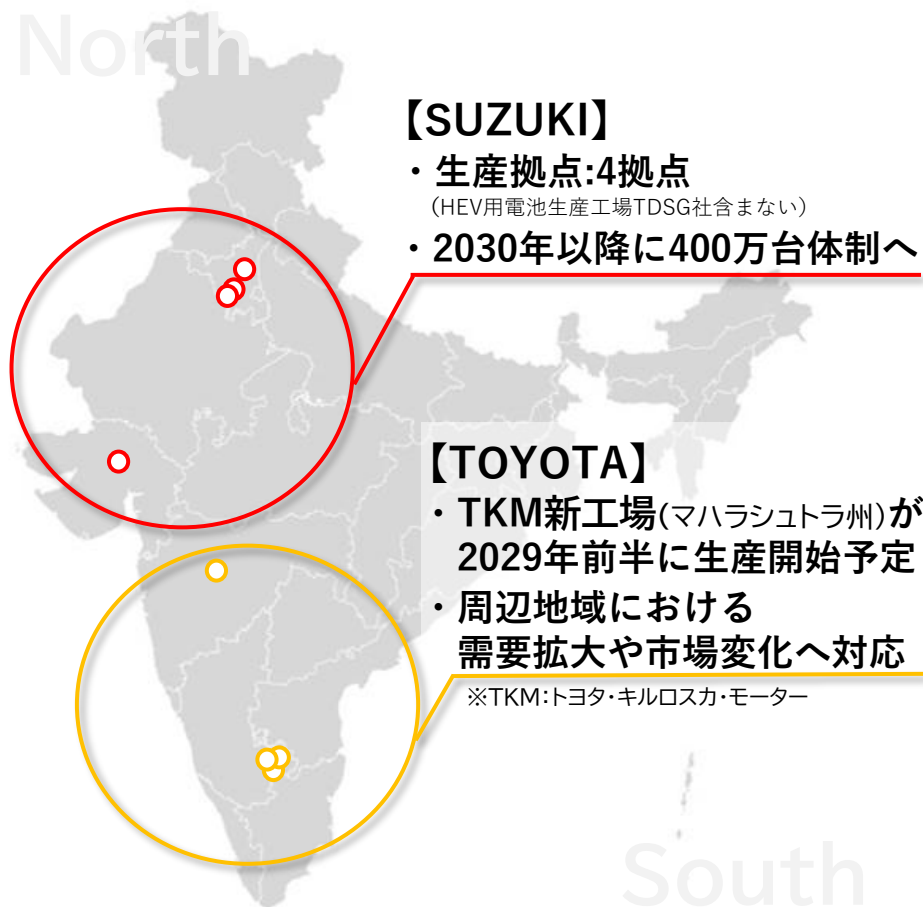
インドの自動車市場は、急激な経済成長とモータリゼーションの進展に伴い、中長期的に強力な生産規模拡大が期待される。

【インドの自動車生産台数予測(ライトビークル)】



出典:マークラインズデータよりフタバが予測

■ 客先動向

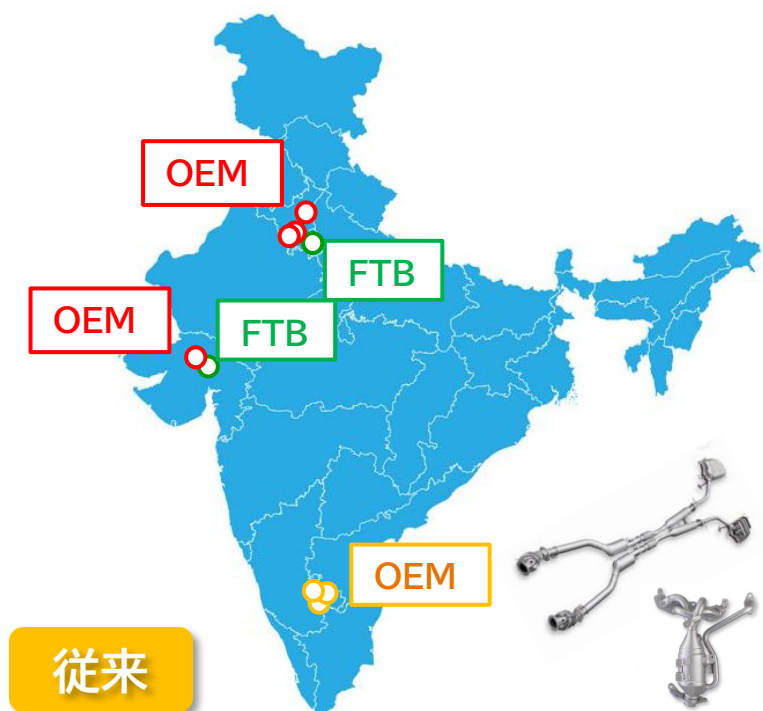


インドを重点地域と位置づけ、お客様と共に成長を目指す

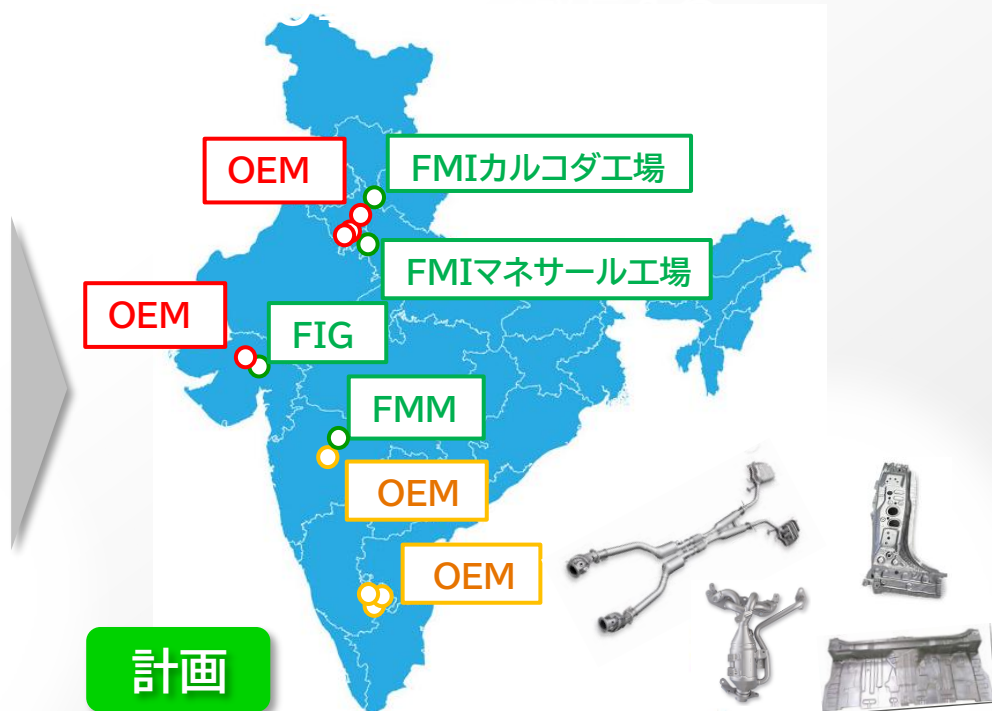
Ⅱ.成長戦略の進捗 ― ②インド事業の拡大

Close Up2

インド事業



従来



計画

2025年→2026年の進捗

- インド中西部に新拠点FMMを設立(TKM様へ部品供給)
- インドにて大型プレス機を導入し、ボデー系部品事業を開始

Ⅱ.成長戦略の進捗 ― ②インド事業の拡大

Close Up2

インド事業

2026年5月20日 ニュースリリース

インド中西部に新工場設立 ～トヨタ・キルロスカ・モーター様向けボデー系部品事業を開始～

■新工場の概要

所在地	インド国 マハラシュトラ州ビドキン工業団地
着工	2026年10月(予定)
稼働開始時期	2029年前半(予定)
延べ床面積	約30,000㎡
従業員数	約300名

※延べ床面積、従業員数は稼働開始時点の見込み

■新工場完成イメージ



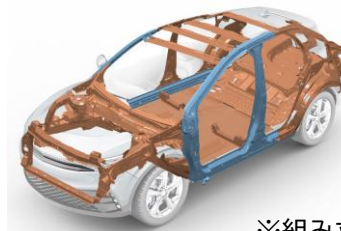
(補足情報) ■受注部品

従来の当社のボデー系部品受注量



※イメージ

TKM様に供給するボデー系部品受注量



※イメージ
※組み立てはお客様

現在のゾーン開発の集大成として、ボデー系部品を大規模受注

Ⅱ.成長戦略の進捗 ― ②インド事業の拡大

Close Up2

インド事業

2024年12月24日 ニュースリリース

インド カルコダ 新工場設立に関するお知らせ

■新工場の概要

所在地	インド国 ハリヤナ州 カルコダ
投資額	約25億INR(約45億円)
着工	2025年4月(予定)
稼働開始時期	2027年3月(予定) →2028年前半
延べ床面積	約10,000㎡
従業員数	約300名

(補足情報) ■受注部品

排気系システム



※イメージ

エキゾーストマニホールド



※イメージ

マルチ・スズキ・インディア様向けの排気系部品を供給

(補足情報) ■新工場完成イメージ



Ⅱ.成長戦略の進捗 ― ②インド事業の拡大

Close Up2

インド事業

更なる成長に向けた取り組み

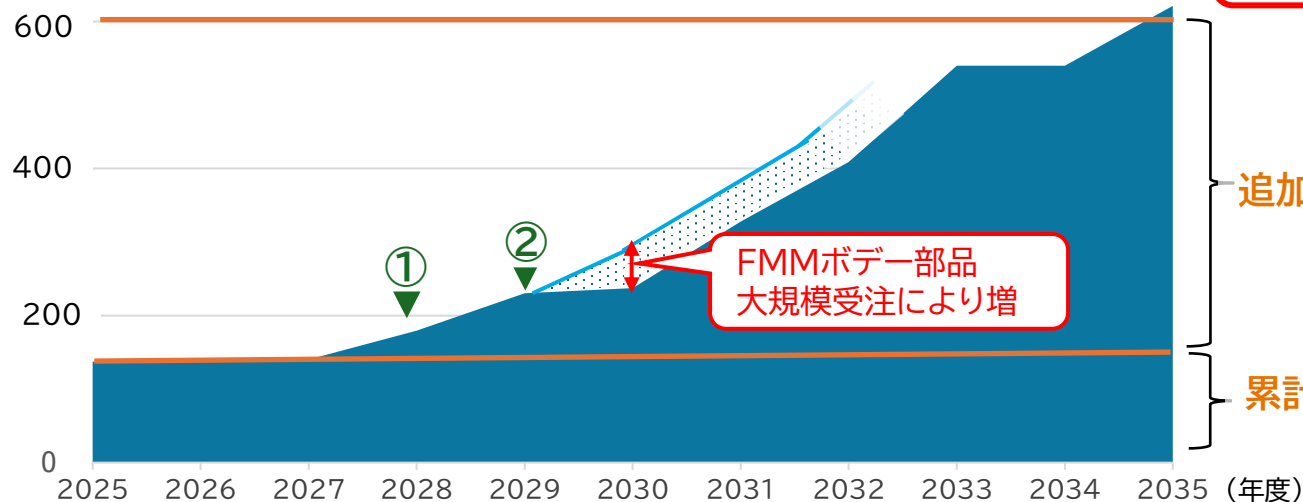
- 市場拡大に伴う客先生産台数増加に向けた受注拡大
- 効率的な投資(最適なタイミング、成長機会を掴む)
- ローカル人材の採用から育成

売上目標

※支給品を除く

- ① FMI カルコダ工場 稼働開始
- ② FMM 稼働開始

(億円)



Ⅱ.成長戦略の進捗 ー ③新規事業への挑戦

■ 歴史・沿革

社会課題

1945ー

戦後の生活必需品の欠乏

1960ー

モータリゼーションによる公害問題

1980ー

省資源・省エネルギーへの対応

2000ー

ハイブリット車による燃費競争

2010ー

気候変動・食糧問題の深刻化

2020ー

脱炭素社会実現への取組と環境規制の加速

製品・技術を通じた解決策

1945:漁網編機



1959:マフラー事業に参入



1947:パイプ製応接セット



1989:ステンレス製エキゾーストマニホールドを開発・生産



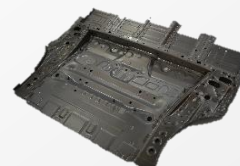
2001:980MPa冷間超ハイテン材加工のセンターピラーを開発・生産



2015:ホットスタンプ加工のフロントピラーを開発・生産



2022:センターフロアパンサブアッセンブリを生産



2023:1470MPa冷間超ハイテン材加工のフロントピラーを開発・生産



売上高
(億円)
8,000

6,000

4,000

2,000

0

1970

1980

1990

2000

2010

2020

80年以上のあゆみの中で、「挑戦し、成長する集団」として、
時代ごとの社会課題に応えながら技術力を進化させ成長

Ⅱ.成長戦略の進捗 ー ③新規事業への挑戦

■ 新規事業一覧

農業事業(アグリフ)

agleaf®
CO₂システム



エネルギー循環
システム

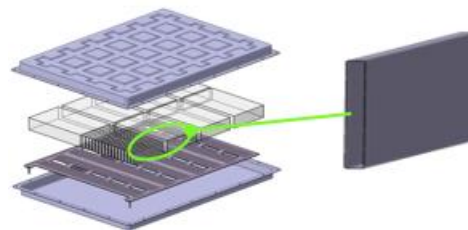


レーザ除草ロボット



バッテリー製品

バッテリーセルケース
バッテリー冷却器

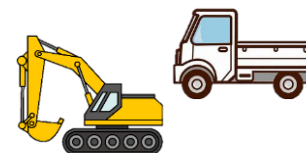


その他事業

超小型SOFC燃料電池



車載式CO₂回収システム



Ⅱ.成長戦略の進捗 ー ③新規事業への挑戦

Close Up3

バッテリー製品

当社のコア技術を活用した新製品開発

排気熱回収器



熱マネ

レーザ溶接



レーザ

プレス加工



成型

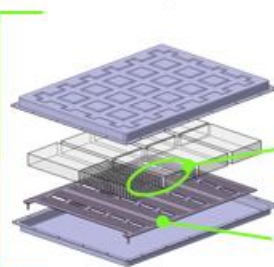
【バッテリー】



【バッテリーセルケース】



【バッテリー冷却プレート】



BEV化拡大によるOEMのサプライチェーン拡大、バッテリーの改良ニーズと
フタバのコア技術が合致

2025年→2026年の進捗

- 試作品を受注し、評価・解析のフェーズまで進行中
- 共同開発者: Nature Architectsとの連携強化（側面冷却器）
- 自動車部品事業(ボデー/排気)との融合によるフロアモジュール提案への
取り組み拡大



フタバ産業株式会社

<https://www.futabasangyo.com/>

【注意事項】

本資料に記載される当社（連結子会社を含む）の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績予想等のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い申し上げます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに、複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、一部の数値を億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。